

上演にあたって



演出 関本三芳

私たちは二十七年前より、小佐田定雄作、桂枝雀口演の「幽霊の辻」を皮切りに、落語芝居を上演し続けてきました。お客様アンケートには「久しぶりに、お腹を抱えて笑いました」「大声を出して笑いました」「ずっと笑い続けてしまいました」等、書いて頂きとても嬉しく思っております。今年の春公演は、様々な事情があり、延期せざるを得なくなりました。心よりお詫び申し上げます。

三十年前、この小劇場を建設した時「こんな田舎の真ん中に、劇場なんか作ってもお客さんが来る訳がない」と言われましたが、それでもほかに手立てがなく決行しました。

建設途中のガランとした劇場の台所で、照明の勝又氏とすき焼きをつき合い、これからの事を語り、酔いつぶれ、エア・バスケットを布団代わりにして寝てしまったことが思い出されます。畑の真ん中にポツンとある劇場に来てくださったお客様のお蔭で何とかここまで続けることができました。

これからは落語芝居はもちろん、はみだし紙芝居、旗揚げ公演より取り組んで来た宮澤賢治の童話等、皆様に楽しんで頂けるような芝居作りを続けていこうと思います。皆様、お誘いあわせの上、ご来場お待ちしております。



照明プラン 勝又伸夫

秩父で育った私としては、お伽座が何故寄居に？と感じた時から新たな関係が始まりました。今回もどんな芝居になるかわくわくしながら参加しています。

侍をやり込める痛快な噺より、グズグズ言ってる小心者に共感します。私が地味で小心者だからでしょうか？

安田喜貴

子供の頃からテレビ映像をみて育った私は、落語を聞くのが少し苦手です。もし私と同じ方がいらっしゃいましたら、お伽座の落語芝居をぜひ一度ご覧ください

高橋るり



落語芝居は狸賽が好きです。落語の愉快な世界にしゃべる動物が出てくると、実際昔は色んな生き物と会話できてたんじゃないだろうかと思って楽しみです

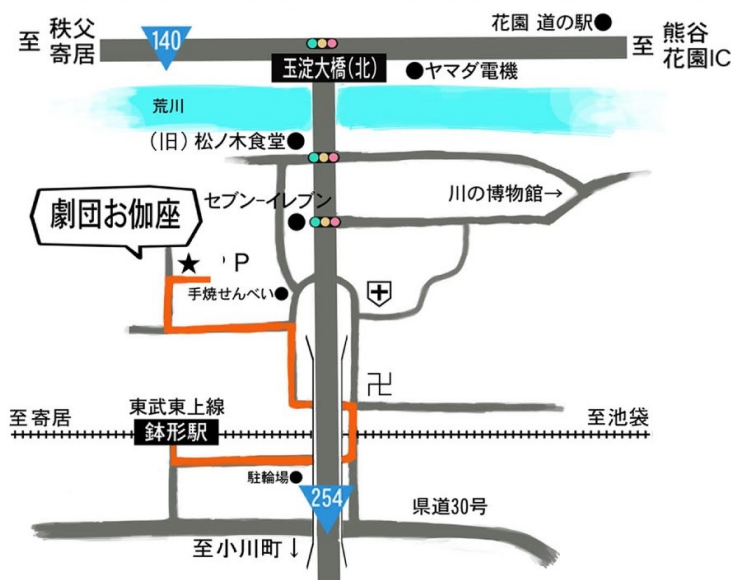
大久保琢弥

最近機嫌の悪い方が増えているような気がします。落語国の人々は「面白きこともなき世を面白く」する術をご存じていま、私もそれに救われております。

カオル

おかしい噺をおかしな役者たちが全力でお届けします。やればやるほど演じるとは何か、分からなくなる落語芝居。面白くて深みにはまっています。

岩本あちゃこ



【交通】

電車でのアクセス

・東武東上線「鉢形駅」より徒歩7分

車でのアクセス

・関越自動車道「花園IC」より国道140号を秩父方面に約4km「玉淀大橋(北)」信号を東松山・小川町方面に曲がり254号沿いセブンイレブン横に入る

【お問い合わせ】

劇団お伽座

TEL: 048-581-7449

<https://www.otogiza.com/>

※席に限りがございます。ご予約はお早目をお願い致します。